

# スポーツリーダー

(敬称略)



## 杉原加代さん国体で日本一に

10月23日、第60回岡山国体秋季大会の成年女子5,000mで、杉原加代さん（三刀屋町古城出身・実業団パナソニック・モバイルコミュニケーションズ所属）が、15分36秒27で優勝しました。

杉原さんは、これまで全国高校駅伝や都道府県対抗駅伝、実業団対抗陸上競技大会、アジア選手権などへ出場し、好成績をおさめられているほか、平成17年度の北京オリンピック強化指定選手に認定されています。今後ますますのご活躍を期待しています。

## 第10回 永井隆記念明石高原平和ロードレース大会

■とき 10月10日 ■参加 300名

<b>優勝 2.5km</b>	<b>5.0km</b>
一般の部 (男子40歳未満) 藤原栄司 (大東町) 7分46秒	一般の部 (男子40歳未満) 日野誠彦 (大東町) 16分28秒
一般の部 (男子40歳以上) 菅原幸吉 (出雲市) 8分35秒	一般の部 (男子40歳以上) 古居 誠 (吉田町) 17分37秒
一般の部 (女子40歳未満) 万場 彩 (三刀屋町) 9分59秒	一般の部 (女子40歳未満) 村内悦子 (松江市) 22分55秒
一般の部 (女子40歳以上) 嵐 直子 (安来市) 10分42秒	一般の部 (女子40歳以上) 後藤節子 (出雲市) 23分51秒
<b>中学生男子の部</b> 安部伸也 (大東町) 8分6秒	<b>10.0km</b>
<b>中学生女子の部</b> 末光真子 (大東町) 9分8秒	一般の部 難波裕規 (飯南町) 34分19秒
<b>小学生男子の部</b> 酒井滉生 (飯南町) 10分8秒	
<b>小学生女子の部</b> 飯島千恵 (飯南町) 10分27秒	



## 第6回 鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭 兼 第3回 中国地区バウンズボール大会

■とき 10月23日 ■ところ 鳥取県南部町農業者トレーニングセンター  
 一般男子の部 優勝 雲南市BB同好会A 日野勝己・岸本 豊・中林武男 (加茂町)  
 3位 雲南市BB同好会B 岡田久光・高木顕秀・高木幸男 (加茂町)

## 第1回 雲南市ソフトテニス大会

■とき 10月30日 ■ところ 健康の森テニスコート (木次町)  
 一般男子の部 優勝 宇山充茂・福岡 清 (大東クラブ) 一般女子の部 優勝 松林真美・古居知恵 (三刀屋高校)  
 シニアの部 優勝 出雲孝悦・高野恒芳 (木次クラブ)

## 第40回 吉田町自治会親善バレーボール大会

■とき 10月30日 ■ところ 吉田勤労者体育センター  
 優勝 川原町A 準優勝 上山A 3位 大吉田、宇山・民谷A

### シリーズNPO その②

## 「NPOって何？」

今回もNPOの基礎知識について解説していきます。



しまねNPO活動支援センター 樋口和広さん

### ●NPO法人の活動

最近、「〇〇の活動をしたいのだが、NPO法人の設立は可能か」といった質問をよくいただきます。前号でNPO法人の17分野について掲載しましたが、その内容は詳細に定められているわけではありませんが、また、その事業に関する方法論にも細かな制限はありませんから、法人の目的に合致していれば、物販や店舗経営なども可能です。つまり、対象者が特定のもの（同窓会など）や活動エリアが市町村単位以下に限定されているもの（自治会など）を除けば、ほとんどのNPO法人として行うことができます。全国では約2万4千のNPO法人が設立されていますが、その内容は様々です。例えば障害者支援や人権擁護など、いわゆる市民活動的なもの

もあれば、商品の販売やコンサルティングといった企業的なものもあります。また、最近では使い捨て容器や割り箸などを減らすためにプラスチック食器のレンタルをしたり、嫁不足に悩む農村地域での結婚相談所開設など、地域課題解決と収益事業が一体化したいわゆる「コミュニティビジネス」を実施している法人も増えています。

また、最近では使い捨て容器や割り箸などを減らすためにプラスチック食器のレンタルをしたり、嫁不足に悩む農村地域での結婚相談所開設など、地域課題解決と収益事業が一体化したいわゆる「コミュニティビジネス」を実施している法人も増えています。

### ●法人設立を検討するポイント

では、法人設立をするかどうかを考えるとき、どういう点で判断したらよいのでしょうか。

#### ①財産管理と契約行為

任意団体の場合、団体名で口座を開いたとしても、法的には個人口座になるため、団体が多額の資金や土地などを所有している場合には、法人格を取得して財産管理を行うことをお勧めします。契約行為も同様で、任意団体では団体としての契約ができません。委託など契約が発生する場合には、法人格が必要とされる場合があります。

#### ②事業の性質

例えば福祉移送サービスなど、

事業によっては、任意団体や株式会社ではできないものがあります。こうした事業を行う場合に法人格の取得が必要です。

この2つ以外の理由で法人設立を考えられる場合は、任意団体や営利組織でも活動出来る場合が少なくありません。

よく、「法人になると信用される」とか、「公共団体の委託を受けるのにイメージがいい」「助成や補助が受けやすいのでは」との理由で法人設立の相談を受けるケースがありますが、まず、法人格を取得するだけで得られる信用というのは知れていて、それよりも事業の質、しっかりした事務体制等によってできるものです。

また、補助や助成は期限があり、受けられたとしても数十万円程度で人件費が認められていない場合も多い一方、法人になると事業報告書等の提出や情報公開などが義務づけられますし、法人税もかかるなどのデメリットもありますのでお勧めできません。

そして、これらの話はあくまでも公益を第一に考える組織を前提としています。委託や補助を受ける目的で法人を設立するのは本末転倒だといえるでしょう。

## いきいき雲南

11月3日、誕生1周年記念式典がアスパルで行われました。多くのご来賓にご臨席をいただき、激励、祝辞をいただきました。それらをしかと受け止め、今後の市政運営に活かしていくことをあらためて決意した次第です。



記念式典の数日前、吉田町で「たまごかけごはん」シンポジウムが行われ、開催にあたってはテレビでは全国放送され、多くのお客さんが参加されました。とりたてて騒ぐほどのない、日本中でもっとも食されている、料理と言っただけでもない食べ方の「ごはんです。だからこそ、注目されたのではないのでしょうか。」

戦後60年が経ち、景気は悪いとはいいながらもまさしく飽食の時代の中で、日本の文化を見失ってはならない、という啓示ではないかと思われてなりません。見失われがちな素晴らしい日本の文化を大切に、育み活かすことこそがめざされなければなりませんし、そのことが地方が果たすべき役割であり、雲南市が歩むべき道であると思います。

合併1周年にふさわしい催しでした。(雲南市長 速水雄一)